

大北線代替交通実証運行事業

都市整備部都市計画課

(単位：千円)

予算額	財源内訳			
	国・県	市債	その他	一般財源
6,651				6,651
委託料				

1 背景/目的

- ▶ 富士川町との合併以降（H20～R5 予算分）、旧富士川町のルールに基づき、山梨交通株式会社の運行する路線バス事業に対して欠損額の全てを国・県・沿線市（富士宮市・静岡市）と連携して補助してきたが、旧富士市では運行事業者が欠損額の全ては補助しておらず、ルールの不均衡が課題であった。そのため、令和6年度予算分の補助からはルールを統一し、利用実態（乗車密度）を踏まえた補助を行うこととした。
- ▶ 補助金減額に伴い大幅な赤字となり、令和7年3月末、山梨交通から「大北線を令和7年9月末に廃止する」旨の届出が国に提出された。
- ▶ 収支改善のためには運行内容の見直しやコスト削減等の経営努力が必要となるが、令和元年度以降、山梨交通において、ダイヤの見直しや路線の統合等の対策は講じられなかった。

(1) 山梨交通株式会社の運行路線

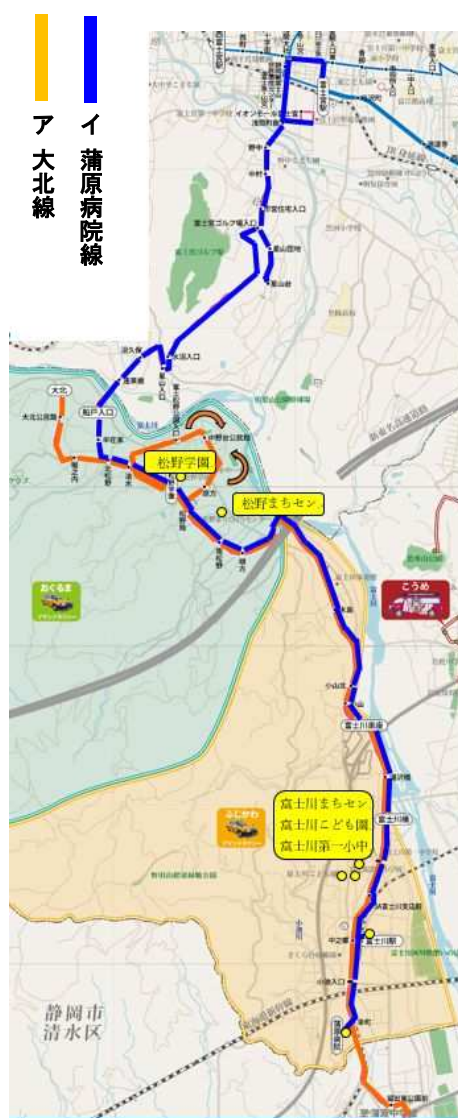
ア 大北線（大北～中野台～蒲原中学校）

イ 蒲原病院線（富士宮駅～イオン～星山台～蒲原病院）

(2) 過去5年間の欠損額・補助額（千円）と乗車密度

		R2	R3	R4	R5	R6
大北線	欠損額	10,952	10,986	10,577	11,132	12,584
	補助額	9,712	9,741	9,379	9,871	5,579
	乗車密度	1.3	1.1	1.4	1.3	1.3
蒲原病院線	欠損額	21,597	16,543	16,978	22,759	32,285
	補助額	15,462	11,745	12,427	16,295	20,873
	乗車密度 (イオン経由)	2.3 (2.4)	2.2 (2.0)	1.8 (1.9)	2.4 (1.8)	1.8 (2.0)
補助額合計		25,174	21,486	21,806	26,166	26,452

【路線図】



2 事業概要

(1) 大北線代替交通実証運行業務委託（5,249 千円）

- ・大北線の廃止以降、令和7年10月から同年12月までの代替交通として、道路運送法21条に基づく市自主運行バス実証運行委託を実施
- ・蒲原病院線についても令和7年12月末に廃止の意向があるが、正式な届出には至っていない。令和8年1月以降の運行内容は、山梨交通の動向を注視して検討

(2) 大北線代替交通実証運行準備業務委託（1,402 千円）

- ・バス停設置、音声テープ、運賃表示、バスロケーションデータ作成等の運行準備